

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成18年10月12日(2006.10.12)

【公開番号】特開2005-92707(P2005-92707A)

【公開日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【年通号数】公開・登録公報2005-014

【出願番号】特願2003-327756(P2003-327756)

【国際特許分類】

G 06 F 17/30 (2006.01)

G 06 F 17/21 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/30 170 B

G 06 F 17/30 350 C

G 06 F 17/21 530 E

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月25日(2006.8.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

格納情報を格納する情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出システムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段を備えることを特徴とする類似度算出システム。

【請求項2】

格納情報を格納するものであって異なる複数種の情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出システムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段と、前記比較先となるレイアウト結果の情報格納枠の種別および前記比較元となるレイアウト結果の情報格納枠の種別に基づいて種別類似度を算出する種別類似度算出手段と、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記種別類似度算出手段で算出した種別類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段とを備えることを特徴とする類似度算出システム。

【請求項3】

格納情報を格納する情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けかつ前記情報格納枠に情報を格納してレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出システムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段と、前記比較先となるレイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元となるレイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出手段と、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記内容類似度算出手段で算出した内容類似度に基づい

て前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段とを備えることを特徴とする類似度算出システム。

【請求項 4】

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段から前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイアウトシステムから得られたレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出システムであつて、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段と、前記比較先となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出手段と、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記テンプレート類似度算出手段で算出したテンプレート類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段とを備えることを特徴とする類似度算出システム。

【請求項 5】

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段から前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイアウトシステムから得られたレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出システムであつて、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段と、前記比較先となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出手段と、前記比較先となるレイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元となるレイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出手段と、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度、前記テンプレート類似度算出手段で算出したテンプレート類似度および前記内容類似度算出手段で算出した内容類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段とを備えることを特徴とする類似度算出システム。

【請求項 6】

格納情報を格納する情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出プログラムであつて、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段として実現される処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであることを特徴とする類似度算出プログラム。

【請求項 7】

格納情報を格納するものであつて異なる複数種の情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出プログラムであつて、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段、前記比較先となるレイアウト結果の情報格納枠の種別および前記比較元となるレイアウト結果の情報

格納枠の種別に基づいて種別類似度を算出する種別類似度算出手段、並びに、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記種別類似度算出手段で算出した種別類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段として実現される処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであることを特徴とする類似度算出プログラム。

【請求項 8】

格納情報を格納する情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けかつ前記情報格納枠に情報を格納してレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出プログラムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段、前記比較先となるレイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元となるレイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出手段、並びに、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記内容類似度算出手段で算出した内容類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段として実現される処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであることを特徴とする類似度算出プログラム。

【請求項 9】

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段から前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイアウトプログラムから得られたレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出プログラムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段、前記比較先となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出手段、並びに、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記テンプレート類似度算出手段で算出したテンプレート類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段として実現される処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであることを特徴とする類似度算出プログラム。

【請求項 10】

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段から前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイアウトプログラムから得られたレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出プログラムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段、前記比較先となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出手段、前記比較先となるレイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元となるレイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出手段、並びに、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度、前記テンプレート類似度算出手段で算出したテンプレート類似度および前記内容類似度算出手段で算出した内容類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段として実現される処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであることを

特徴とする類似度算出プログラム。

【請求項 1 1】

格納情報を格納する情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出方法であって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出ステップを含むことを特徴とする類似度算出方法。

【請求項 1 2】

格納情報を格納するものであって異なる複数種の情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出方法であって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出ステップと、前記比較先となるレイアウト結果の情報格納枠の種別および前記比較元となるレイアウト結果の情報格納枠の種別に基づいて種別類似度を算出する種別類似度算出ステップと、前記属性類似度算出ステップで算出した属性類似度および前記種別類似度算出ステップで算出した種別類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出ステップとを含むことを特徴とする類似度算出方法。

【請求項 1 3】

格納情報を格納する情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けかつ前記情報格納枠に情報を格納してレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出方法であって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出ステップと、前記比較先となるレイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元となるレイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出ステップと、前記属性類似度算出ステップで算出した属性類似度および前記内容類似度算出ステップで算出した内容類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出ステップとを含むことを特徴とする類似度算出方法。

【請求項 1 4】

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段から前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイアウトシステムから得られたレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出方法であって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出ステップと、前記比較先となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出ステップと、前記属性類似度算出ステップで算出した属性類似度および前記テンプレート類似度算出ステップで算出したテンプレート類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出ステップとを含むことを特徴とする類似度算出方法。

【請求項 1 5】

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段から前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイア

ウトシステムから得られたレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出方法であって、比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出ステップと、前記比較先となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出ステップと、前記比較先となるレイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元となるレイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出ステップと、前記属性類似度算出ステップで算出した属性類似度、前記テンプレート類似度算出ステップで算出したテンプレート類似度および前記内容類似度算出ステップで算出した内容類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出ステップとを含むことを特徴とする類似度算出方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

〔手段1〕 上記目的を達成するために、手段1の類似度算出システムは、情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出するシステムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段を備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

ここで、レイアウトとは、例えば、画面上に表示することを目的としてレイアウトを行う場合にはその表示レイアウトを、紙面上に印刷することを目的としてレイアウトを行う場合にはその印刷レイアウトをいう。以下、手段2ないし5の類似度算出システム、手段6ないし10の類似度算出プログラム、並びに手段11ないし15の類似度算出方法において同じである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、本システムは、単一の装置、端末その他の機器として実現するようにしてもよいし、複数の装置、端末その他の機器を通信可能に接続したネットワークシステムとして実現するようにしてもよい。後者の場合、各構成要素は、それぞれ通信可能に接続されなければ、複数の機器等のうちいずれに属していてもよい。以下、手段2ないし5の類似度算出システムにおいて同じである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

〔手段2〕 さらに、手段2の類似度算出システムは、異なる複数種の情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出するシステムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段と、前記比較先レイアウト結果の情報格納枠の種別および前記比較元レイアウト結果の情報格納枠の種別に基づいて種別類似度を算出する種別類似度算出手段と、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記種別類似度算出手段で算出した種別類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

これにより、情報格納枠のレイアウト属性および種別に基づいて類似度が算出されるので、各情報格納枠ごとの類否を考慮してレイアウト結果の類似度を算出することができる。したがって、従来に比して、読み手の主観を比較的適切に反映した類似度を算出することができるという効果が得られる。

〔手段3〕 さらに、手段3の類似度算出システムは、

情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けかつ前記情報格納枠に情報を格納して所定のレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出するシステムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段と、前記比較先レイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元レイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出手段と、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記内容類似度算出手段で算出した内容類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

これにより、情報格納枠のレイアウト属性および格納情報の内容に基づいて類似度が算出されるので、各情報格納枠ごとの類否、および格納情報の内容の類否を考慮してレイアウト結果の類似度を算出することができる。したがって、従来に比して、読み手の主観を比較的適切に反映した類似度を算出することができるという効果が得られる。

ここで、格納情報には、文字情報、画像情報その他レイアウトを構成可能な要素が含まれる。以下、手段4および5の類似度算出システム、手段8ないし10の類似度算出プログラム、並びに手段13ないし15の類似度算出方法において同じである。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

〔手段4〕 さらに、手段4の類似度算出システムは、

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段のなかから前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイアウトシステムから得られたレイアウト結果の類似度を算出するシステムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段と、前記比較先レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出手段と、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記テンプレート類似度算出手段で算出したテンプレート類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

これにより、情報格納枠のレイアウト属性およびレイアウトテンプレートに基づいて類似度が算出されるので、各情報格納枠ごとの類否を考慮してレイアウト結果の類似度を算出することができる。したがって、従来に比して、読み手の主観を比較的適切に反映した類似度を算出することができるという効果が得られる。

〔手段5〕さらに、手段5の類似度算出システムは、

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段のなかから前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイアウトシステムから得られたレイアウト結果の類似度を算出するシステムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段と、前記比較先レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出手段と、前記比較先レイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元レイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出手段と、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度、前記テンプレート類似度算出手段で算出したテンプレート類似度および前記内容類似度算出手段で算出した内容類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

〔手段6〕一方、上記目的を達成するために、手段6の類似度算出プログラムは、情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配

置したレイアウト結果の類似度を算出するプログラムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段として実現される処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであることを特徴とする。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

このような構成であれば、コンピュータによってプログラムが読み取られ、読み取られたプログラムに従ってコンピュータが処理を実行すると、手段1の類似度算出システムと同等の作用および効果が得られる。

〔手段7〕さらに、手段7の類似度算出プログラムは、

異なる複数種の情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出するプログラムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段、前記比較先レイアウト結果の情報格納枠の種別および前記比較元レイアウト結果の情報格納枠の種別に基づいて種別類似度を算出する種別類似度算出手段、並びに、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記種別類似度算出手段で算出した種別類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段として実現される処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであることを特徴とする。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

このような構成であれば、コンピュータによってプログラムが読み取られ、読み取られたプログラムに従ってコンピュータが処理を実行すると、手段2の類似度算出システムと同等の作用および効果が得られる。

〔手段8〕さらに、手段8の類似度算出プログラムは、

情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けかつ前記情報格納枠に情報を格納して所定のレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出するプログラムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段、前記比較先レイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元レイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出手段、並びに、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記内容類似度算出手段で算出した内容類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段として実現される処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであることを特徴とする。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

このような構成であれば、コンピュータによってプログラムが読み取られ、読み取られたプログラムに従ってコンピュータが処理を実行すると、手段3の類似度算出システムと同等の作用および効果が得られる。

〔手段9〕さらに、手段9の類似度算出プログラムは、

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段のなかから前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイアウトプログラムから得られたレイアウト結果の類似度を算出するプログラムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段、前記比較先レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出手段、並びに、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記テンプレート類似度算出手段で算出したテンプレート類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段として実現される処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであることを特徴とする。

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

このような構成であれば、コンピュータによってプログラムが読み取られ、読み取られたプログラムに従ってコンピュータが処理を実行すると、手段4の類似度算出システムと同等の作用および効果が得られる。

〔手段10〕さらに、手段10の類似度算出プログラムは、

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段のなかから前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイアウトプログラムから得られたレイアウト結果の類似度を算出するプログラムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段、前記比較先レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出手段、前記比較先レイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元レイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出手段、並びに、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度、前記テンプレート類似度算出手段で算出したテンプレート類似度および前記内容類似度算出手段で算出した内容類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段として実現される処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであることを特徴とする。

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0028】**

このような構成であれば、コンピュータによってプログラムが読み取られ、読み取られたプログラムに従ってコンピュータが処理を実行すると、手段5の類似度算出システムと同等の作用および効果が得られる。

〔手段11〕一方、上記目的を達成するために、手段11の類似度算出方法は、情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する方法であって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出ステップを含むことを特徴とする。

【手続補正16】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0029****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0029】**

これにより、手段1の類似度算出システムと同等の効果が得られる。

〔手段12〕さらに、手段12の類似度算出方法は、異なる複数種の情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する方法であって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出ステップと、前記比較先レイアウト結果の情報格納枠の種別および前記比較元レイアウト結果の情報格納枠の種別に基づいて種別類似度を算出する種別類似度算出ステップと、前記属性類似度算出ステップで算出した属性類似度および前記種別類似度算出ステップで算出した種別類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出ステップとを含むことを特徴とする。

【手続補正17】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0030****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0030】**

これにより、手段2の類似度算出システムと同等の効果が得られる。

〔手段13〕さらに、手段13の類似度算出方法は、情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けかつ前記情報格納枠に情報を格納して所定のレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する方法であって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出ステップと、前記比較先レイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元レイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出ステップと、前記属性類似度算出ステップで算出した属性類似度および前記内容類似度算出ステップで算出した内容類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出ステップとを含むことを特徴とする。

【手続補正18】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0031****【補正方法】変更**

【補正の内容】**【0031】**

これにより、手段3の類似度算出システムと同等の効果が得られる。

〔手段14〕さらに、手段14の類似度算出方法は、

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段のなかから前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイアウトシステムから得られたレイアウト結果の類似度を算出する方法であつて、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出ステップと、前記比較先レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出ステップと、前記属性類似度算出ステップで算出した属性類似度および前記テンプレート類似度算出ステップで算出したテンプレート類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出ステップとを含むことを特徴とする。

【手続補正19】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0032****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0032】**

これにより、手段4の類似度算出システムと同等の効果が得られる。

〔手段15〕さらに、手段15の類似度算出方法は、

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段のなかから前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイアウトシステムから得られたレイアウト結果の類似度を算出する方法であつて、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出ステップと、前記比較先レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出ステップと、前記比較先レイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元レイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出ステップと、前記属性類似度算出ステップで算出した属性類似度、前記テンプレート類似度算出ステップで算出したテンプレート類似度および前記内容類似度算出ステップで算出した内容類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出ステップとを含むことを特徴とする。

【手続補正20】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0033****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0033】**

これにより、手段 5 の類似度算出システムと同等の効果が得られる。

【手続補正 2 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 2】

これにより、過去のレイアウト結果を比較元レイアウト結果 4 として用いることができる、同一の業種に属する他のユーザに対して過去提供したことのあるレイアウト結果に対して独自性の高いレイアウトを実現することができる。

上記第 1 の実施の形態において、類似度算出部 1 8 およびステップ S 4 0 0 ~ S 4 0 8 は、手段 1 または 6 のレイアウト結果類似度算出手段に対応し、ステップ S 4 0 0 ~ S 4 0 8 は、手段 1 1 のレイアウト結果類似度算出ステップに対応している。

【手続補正 2 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 2 3】

上記第 2 の実施の形態において、レイアウト要素登録 D B 4 0 は、手段 4、5、9、10、14 または 15 の格納情報記憶手段に対応し、ステップ S 2 1 0 は、手段 4、5、9、10、14 または 15 の格納情報選択手段に対応し、ステップ S 2 1 2 ~ S 2 1 8 は、手段 4、5、9、10、14 または 15 のレイアウト手段に対応している。また、ステップ S 5 0 0, S 5 0 2 は、手段 5 若しくは 10 の内容類似度算出手段、または手段 1 5 の内容類似度算出ステップに対応し、ステップ S 5 0 4, S 5 0 6 は、手段 4、5、9 若しくは 10 の属性類似度算出手段、または手段 1 4 若しくは 1 5 の属性類似度算出ステップに対応している。

【手続補正 2 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 2 4】

また、上記第 2 の実施の形態において、ステップ S 5 0 8, S 5 1 0 は、手段 4、5、9 若しくは 10 のテンプレート類似度算出手段、または手段 1 4 若しくは 1 5 のテンプレート類似度算出ステップに対応し、ステップ S 5 1 2 は、手段 4、5、9 若しくは 10 のレイアウト結果類似度算出手段、または手段 1 4 若しくは 1 5 のレイアウト結果類似度算出ステップに対応している。

【手続補正 2 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 3 9】

上記第 3 の実施の形態において、レイアウト要素登録 D B 4 0 は、手段 4、5、9、10、14 または 15 の格納情報記憶手段に対応し、ステップ S 2 1 0 は、手段 4、5、9、10、14 または 15 の格納情報選択手段に対応し、ステップ S 2 1 2 ~ S 2 1 8 は、手段 4、5、9、10、14 または 15 のレイアウト手段に対応している。また、ステップ S 6 0 2 は、手段 4、5、9 若しくは 10 の属性類似度算出手段、または手段 1 4 若しくは 1 5 の属性類似度算出ステップに対応し、ステップ S 6 0 4 は、手段 5 若しくは 10

の内容類似度算出手段、または手段15の内容類似度算出ステップに対応している。

【手続補正25】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0140

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0140】

また、上記第3の実施の形態において、ステップS606は、手段4、5、9若しくは10のテンプレート類似度算出手段、または手段14若しくは15のテンプレート類似度算出ステップに対応し、ステップS612は、手段4、5、9若しくは10のレイアウト結果類似度算出手段、または手段14若しくは15のレイアウト結果類似度算出ステップに対応している。